



校長室だより2

黒部市立村椿小学校
文責：校長 寺島紀子
令和8年2月13日
第35号

暦の上ではもう春となりましたが、10日（火）は冬の季語である「凍晴（いてばれ：凍るように寒い快晴の朝）」を思わせるような朝でした。本校のピロティーにも数カ所、薄い水たまりが凍りつきツルツルと危ない状態の箇所がありました。注意喚起のためにコーンを置きましたが、早速その周辺で、氷の溶け具合と滑り具合をおそるおそる確かめている子が数名いました。また、登校途中で大きなガラス細工のような氷の板や大きな氷柱をゲットしてきた子も数名…。滑って転倒し思わずケガや交通事故に繋がらないよう、安全に注意しながらも、この季節ならではの楽しみを見付けて元気に登校してきてくれることを願っています。



さて、先週末から「ミラノ・コルティナ冬季五輪2026」が開幕しています。考えてみると、冬のスポーツのほとんどが「滑る」競技です。かなりのスピードがあり相当の危険を伴う競技が多い中、そこに「楽しみ」を見い出し、より速く、より正確に、より華麗にと、技術を磨きベストパフォーマンスを追求する選手の皆さん姿は本当にかっこいい！ リアルタイムでの観戦は難しい時間帯ですが、TV映像等で応援を楽しみたいと思います。



2/10(火)4年道德科の授業から考えたこと

★授業は子供と教師が創り出すドキワクなコラボレーション

今年度の校内研修もまとめの時期になりました。各学級担任が研究授業を年2回ずつ行い、互いの授業の参観と事前事後の協議会を重ねてきました。



10日（火）はその最後として、4年道德科の授業が行われました。担任の久保先生は初任ですが、「子供たちに本音で語らせたい」「全員が進んで参加できる時間にしたい」という熱い思いをもち、この1年間試行錯誤しながら自分なりの道徳の授業を創り上げてきました。今回も、皆で輪になって思い思いに考え方を述べ合ったり、教材文の登場人物と自分を重ねながら役割演技をして考えたり、ロイロノートで振り返りを行ったりといった工夫点が見られ、どの子も真剣に学習に向かっていました。授業とは教師の熱意とその先生の姿勢に応えようとする子供とが創り出すドキドキ・ワクワクなコラボレーションだと私は再認識しました。

授業日の放課後に事後研修会を行います

★緊張感や新鮮な気持ち、学び続ける情熱を子供たちに伝える

教師の仕事は不思議です。普通の仕事は、経験を積み技術が上がるほど手際がよくなり、仕事の質がよくなるのだと思いますが、教育の場では「経験値と経験知に長けたベテラン教師でないとダメ」ということはありません。むしろ教師としての知識や教育技術が少しぐらい未熟だとしても、若い先生こそがもつ緊張感や新鮮な気持ち、情熱が子供に伝わり、唯一無二の授業が創造できたり、学級としての強い絆が生まれたりします。「先生は頑張っているな」



「自分も先生と一緒に授業を創り上げよう」という気持ちになるように、子供の心の糸を動かすことができるるのは若い先生だからこそその魅力です。

久保先生のようなフレッシュな時期をとうに過ぎてしまった私などは、せめて、自分自身が情熱をもって学び続けること、まだまだ分からぬこともやりたいこともたくさんあると思える「心の新鮮さ」を大切にしたいと思っています。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしています！
校長室だよりへの感想・学校へのご意見もお願いします 切り取り できればお名前or児童名()

2/9(月)楽しいコンサート part2

去る9日(月)の業間に、音楽室にて楽しいコンサートが開かれました。2年生2名による鍵盤ハーモニカ演奏『アイアイ』、6年生男子によるピアノ演奏『ブルーアンバー』、そして学校司書の村椿先生と私寺島による二重唱『いのちのうた』の3曲でした。今回も久保先生が参加者を募り、素敵なピアノ伴奏も担当してくださいました。

今回は3演目だけでしたが、来月は参加希望者が多く、また久保先生の本格的なピアノ演奏発表の回も含めて、校内コンサートが複数回予定されています。子供たちにはこうした発表や鑑賞を通して音楽に親しみ、もっともっと音楽好きになってほしいと思います。



シリーズ「教室におじゃまします」2月12日(木)6年理科の巻

水溶液の性質について学習しています。前回、塩酸にアルミニウム(アルミ箔)と鉄(スチールワール)を入れて溶かしていました。

今回はそれを蒸発させて、溶けた金属はどうなっているか調べます。元の固体物がそのまま出てこないにしても、何か粉のようなものが出てくるのではないかと予想を立て、実験開始です。

何しろ塩酸を使うこと

とから、換気する、保護めがねを着ける、真上から覗かないなど、安全のための注意点が幾つかありました。ピペットで試験管内の液を蒸発皿に取り、弱火で熱し水分を蒸発させます。



その後、「くさい、くさい！」と塩酸の刺激臭を感じて鼻をつまむ子もいましたが、その後は顔を近付けすぎず、安全に注意して実験を行ってきました。最初のアルミニウムは少しクリーム色のような白い粉が蒸発皿に残り、続いて実験した鉄は、茶色のような粉が残りました。

その後、坪野先生が動画でも実験の様子を映し、やはり同様の結果となったことを確認しました。これははたして元のアルミニウムと鉄と同じでしょうか、それとも元の金属とは違う何か新しい物質なのでしょうか。

5つの班の粉をかき集め、次の時間に性質を調べることになりました。難しい内容ですが、より妥当な考え方をつくり出し、結論にたどりつけるといいですね。



＜おまけのひとりごと＞私が初めて教頭になった年度にソチ冬季五輪が行われました。その当時の校長先生が冬のある1週間、ランチルームでのお昼の時間に毎日、冬季五輪の競技と種目についての解説をしてくださいました。自作のスライドショーと動画資料を使って全5回シリーズで解説してくださったのです。(なんだか熱くて変わった校長先生だな…)と内心驚いていましたが、自分が面白いと思うことをしっかりと信念をもって伝えてくださった素敵な校長先生だったと、今なら分かります！ 懐かしいです…。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしています！
校長室だよりへの感想・学校へのご意見もお願いします 切り取り できればお名前or児童名()